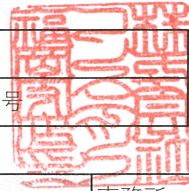


耐震診断結果概要書



診断者	事務所名	株式会社コンステック 福岡支店一級建築士事務所				TEL	092-482-4600						
	担当者	佐藤 淳一	一級建築士 第 376238 号		FAX	092-482-4602							
建物概要	(1)建物名称	桜ビル辛島町(旧熊本東京海上ビル)											
	(2)所在地	熊本県熊本市辛島町8-14				(3)用途	事務所						
	(4)構造・規模	RC+SRC 造 地上 8 階 ・ 地下 1 階 ・ PH - 階				高さ		30.8m					
		架構形式	X方向： 耐力壁付きラーメン構造 Y方向： 耐力壁付きラーメン構造										
	(5)建設年	昭和52年											
	(6)面積	建築面積 472.252 m ² ・ 延べ面積 3691.325 m ² ・ 診断対象 3373.28 m ²											
	(7)階高	B1階 6.25 m ・ 1階 4.3 m ・ 2階～7階 3.5 m ・ 7階(一部) 4.0 m ・ 8階 4.25 m											
	(8)桁行×梁間 全長	20.2 m × 22.0 m		(9)構造的特徴	B1階、8階はRC造、1階～7階はSRC造となっており、用途は事務所ビルである。								
	(桁行スパン×梁間スパン)	(3スパン×4スパン)											
	(10)地盤	表層(礫混じり細砂 ・ 支持層(砂礫)) GL -22.0 m											
	(11)基礎	杭基礎 長期支持力 200 t/本 ～ 648 t/本											
現地調査結果 及び材料強度	(1)コンクリート	設計基準強度	F _c = 20.59 ～ 20.59		N/mm ²								
		標準偏差	σ = 1.31 ～ 13.74		N/mm ²								
		各階の圧縮強度(Xmean-1/2σ)	σ _B = 14.84 ～ 33.73		N/mm ²								
		診断採用強度	F _c = 14.84 ～ 25.73		N/mm ²								
(2)鉄筋	主筋 (種別、径) SD30、D19～D25	診断時降伏点強度		σ _y = 344 N/mm ²									
	帯筋 (種別、径) SR24、9φ～13φ	診断時降伏点強度		σ _y = 294 N/mm ²									
(3)鉄骨	種別 SS41、SM41	診断時降伏点強度		σ _y = 258.5 N/mm ²									
(4)中性化深さ	平均 (0～32.8 mm) ・ 最大 (0.5～40.5 mm)												
耐震判定指標	(1)Iso	0.48			(2)CTU・SD	0.224(1F～7F)、0.24(8F)							
	経年指標	T= 0.95 (1次診断はT=0.80)			診断回数	2次							
Is指標値 C _{TU} ・S _D 値	階	X方向						Y方向					
		E ₀	S _D	F	Is	C _{TU} ・S _D	判定	E ₀	S _D	F	Is	C _{TU} ・S _D	判定
	8F	1.205	1.170	1.000	1.339	1.410	OK	1.798	1.076	1.270	1.839	1.524	OK
	7F	0.585	1.170	1.270	0.650	0.501	OK	1.079	0.780	1.270	0.800	0.663	OK
	6F	0.477	1.170	1.270	0.530	0.417	OK	0.694	0.780	1.270	0.514	0.424	OK
	5F	0.630	1.170	1.400	0.701	0.524	OK	0.768	0.780	1.270	0.569	0.472	OK
	4F	0.548	1.170	1.400	0.609	0.447	OK	0.715	0.780	1.270	0.530	0.439	OK
	3F	0.644	1.170	1.270	0.715	0.593	OK	0.729	0.780	1.270	0.540	0.447	OK
	2F	0.571	1.170	1.270	0.634	0.523	OK	0.756	0.780	1.270	0.560	0.464	OK
	1F	0.761	1.110	1.270	0.803	0.666	OK	0.719	0.780	1.270	0.533	0.439	OK
(注) 診断値は正加力時、負加力時の小なる値													
電算ソフト	「DOC-RC/SRC」 Ver10.0.70.23 (構造システム)												
考察	(1)建物の構造的特徴 地上8階、地下1階建てであり、地下及び8階は鉄筋コンクリート造、1階～7階は鉄骨鉄筋コンクリート造となっている。架構形式は、耐力壁付きラーメン構造である。												
	(2)診断で判明した耐震性能上の問題点 X方向、Y方向ともに、全ての階で耐震判定指標が目標値を上回っており、十分な耐震性能を有している。												
備考	地下1階については四周耐力壁で囲まれていることから十分「安全」と判断し、診断対象外とした。 但し、地下1階における下階壁抜け柱については、地震時に上階の耐力壁による変動軸力が付加されるため、個別に検討を行い、十分な軸耐力を有していることを確認した。												